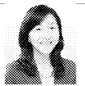
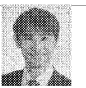
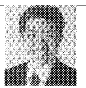
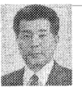
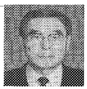
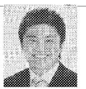
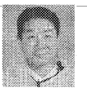
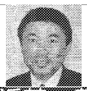
？市民に見えたか？かわぐち市議会（政務調査費・H20年度の使途はいかに？）

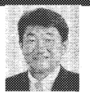
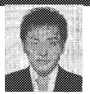
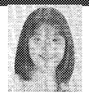
2011/2 調査・編集・発行:川口市民オンブズマン http://k-c-ombudsman.sakura.ne.jp/
*詳しい資料については当会HP、または以下へご連絡ください。
〒333-0821川口市東内野56-33 川口市民オンブズマン（返信切手80円要）

議員給与（月額報酬＋期末手当）年10,784千円、別に政務調査費＋2,160千円（2010年）。政務調査費の領収書公開、使途の一部とその処理が明らかに。

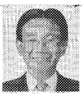
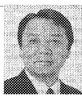
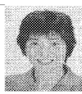
										顔写真 選挙公報より
杉本佳代	柳田　力	関　裕通	若谷正巳	江袋正敬	市原光吉	山崎　豊	木岡　崇	唐澤義達	近藤　豊	氏名
自民	自民	自民	自民	公明	無所属	無所属	無所属ク	無所属ク	無所属ク	党派
2	4	4	5	7	4	4	8	4	3	議会発言数*3（一般質問）
欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	議会欠席数*1
---	活力と魅力の ある街 変化する時代へ の街づくり	子供に優しい 団塊世代の活用 癌患者に優しい ヤングサポート	高齢者・子育て 安全安心 産業支援整備 地域格差是正	障害健康 いじめ問題 防犯防災	格差是正 （障害・勤労者） 大型開発見直し 憲法問題	地域の憩いの場 ケア共同住宅 地域子育て 地域の生活課題	国保介護保険料 子供医療費 子育て教育施設 地域環境整備	学童保育 待機児童 大型施設民営化 福祉	小児難病支援 市民無料相談	公約*2（選挙広報上）
09年補欠選	3,698	3,335	4,026	3,266	3,017	3,446	3,321	6,921	2,839	2007年得票数
---	全額利用	457,651円	全額利用	814,942円	ほぼ全額利用	628,432円	ほぼ全額利用	ほぼ全額利用	ほぼ全額利用	返還額
---	61%	53%	58%	86%	88%	81%	32%	57%	49%	疑義の生じた使途
平成二一年五月補欠選挙により市議会議員となったため、今般調査の対象とした平成二十年度の政務調査費からは非該当。	最大支出は資料作成費（約88万円）、一般質問集（計一万部印刷、約63万円）を市民に発行。政調費の趣旨（調査研究用途）から、研究研修費の支出（約18千円）が最小支出なのが気になる。　当会の指摘等で返還された支出は複数購入した電子住宅地図。	使途で多いのは事務所費（約60万円）・広報費（約60万円）で市政レポート（15千部印刷・年度末1回・約32万円）を発行。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、新聞以外の資料購入が図書1冊のみであることや研究研修費の支出が無い点が気になる。	使途で多いのが広報費（約77万円）・市政レポート合計約6万部・約52万円）を発行。事務所費は（約57万円）。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入（約24万円）で新聞5紙を購読（約20万円）が気になる。当会の指摘等で返還された支出内容は文具・電池代の按分計算もれ。	多いのは広報費（約52万円）で、市政報告等（合計5千部以上・合計約18万円）を発行。HPを開設で計約12万円全額を広報費で支出、活動報告（7回更新）・所属政党へのリンク設定が気になる。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料費（約27万円）のうち公明新聞等4紙購読（約14万円）が半分以上の点も気になる。	多いのは広報費（約147万円）・市政レポート（合計6万部以上・約95万円）を発行。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、領収書宛名・但書の不備（宛名無・宛名苗字のみ・但書無・但書御品代等）が多いのは公金の支出処理が不十分。当会の指摘等で返還された内容は、交際費的経費の交通費と茶菓子代の超過分。	会計処理は比較的丁寧だが、疑義が生じた支出内容は80.68%。　使途で多いのは事務所費（約73万円）・人件費（約38万円・450時間/年分）。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入費・研究研修費の合計約18万円が事務所費や人件費より明らかに少ない点が気になる。	使途で多いのが事務所費（約50万円）。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、事務所費＋ガソリン代の合計約64万円で支出の76%を占め、また赤旗（当初は共産党所属）を購読、所属政党紙は個人の思想信条で購入するものであり、一般人でも購入するもので政務調査費からの支出は気になる。	使途で多いのが事務所費（約82万円）・人件費（約51万円）で事務所を設けて活動。議会報告配布に人件費を支出。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入（約10万円）のうち朝日小学生新聞等新聞3紙の購読（約9万円）がほとんどなのが気になる。	多いのが事務所費（約86万円）・人件費（約78万円・約900時間/年分）。政調費の趣旨（調査研究用途）から、研究研修費（約1万8千円）・資料購入費（約3千円）が小額な点や、本人が理事のNPOの法人への会費全額支出が気になる。　当会の指摘等で返還された支出内容は市民相談用告知看板の一部費用。	利用と処理の状況について

政務調査費（政調費）

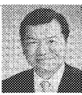
◆政務調査費（略して“政調費”）は条例で『市政に関する調査研究に資するため必要な経費以外のものに充ててはならない』となっています。

									
吉田英司	稲川和成	高橋英明	宇田川好秀	萩原一寿	芝崎正太	幡野　茂	白根大輔	谷川恵子	松本幸恵
自民	自民	自民	自民	公明	公明	公明	民主新風	民主新風	共産
4	4	4	4	6	7	7	6	7	7
欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	1	欠席なし	欠席なし	欠席なし
市民参画 超高齢社会 一貫教育 市債発行抑制	国語・歴史教育 環境問題・緑化 子育て支援 高齢・障害福祉	スポーツ 蕨市との協働 防犯防災 学校統廃合	市民の声 市民が主役 市民との対話 市民参加	少子高齢化 人間主義の教育 中小企業活性化 障害者雇用	環境先進都市 安心安全・防災 教育、文化 福祉充実	子供優先社会 中小企業支援 環境に優しい街 行政改革・医療	交通ｱｸｾｽ充実 防災・産業活性 ｺﾐｭﾆﾃｨ教育 産業活性化	地域子供 ｹｱｾﾝﾀｰ 子育て環境 緑化	国保・介護保険 子供医療費 保育、学童保育 地域ｲﾝﾌﾗ整備
3,389	3,020	3,066	4,316	3,359	2,992	3,575	4,764	3,932	3,125
全額利用	全額利用	全額利用	全額利用	619,064円	149,889円	907,610円	695,670円	714,038円	199,327円
45%	99%	98%	48%	59%	86%	82%	62%	50%	65%
支出科目で多いのが事務所費（約91万円）・人件費（約50万円・158日/年分）で事務所を設けて活動している。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、事務所費や目的が明確でない人件費（勤務実態不明・1，000円/時給・交通費（ガソリン代）3，000円/月）が使途の大半を占めている点が気になる。	多いのは事務所費（約129万円）・人件費（46万円・460時間/年）。他議員と異なり「政調活動」と「政治活動」を区分し事務所賃料計約129万円/年を政調専用で全人件費を支出。研究研修費（約1.7万円）・資料購入費（1万円）が小額な点やタクシー代（約百回・約13万円領収宛名無）は政調費の趣旨（調査研究用）から気になる。	支出科目で多いのが広報費（約83万円）と人件費（約58万円）。市政報告（合計26千部印刷・4回/年・約68万円）を発行。研究研修費（5千円）・資料購入費（千8百円）が小額な点やタクシー利用（約2百回計約24万円領収書宛名無）は政調費の趣旨（調査研究用）から気になる。　当会の指摘等で返還された内容はデジカメ液晶の修理の按分もれ・印鑑の請求誤り。	支出科目で多いのが広報費（約104万円）・事務所費（約60万円）。広報費としてHP作成費約30万円全額を政調費より支出、平成20年度はレポートを1回掲載。政調費の趣旨（調査研究用途）から、研究研修費（200円）・資料購入費（約5万円）が小額な点が気になる。	多いのが広報費（約71万円）で、市政報告等（約2万5千部・年度末・約13万円）を発行。HPを開設し計約12万円全額をこれも広報費で支出、活動報告（2回更新）と所属政党報告等が主な点が気になる。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入費（約11万円）のうち公明新聞はじめ新聞3紙の購読（約10万円）がほとんどであり、これも気になる。	多いのが広報費（約百万円）でチラシ等（合計3万5千部以上・8回以上/年・約55万円）を発行。HPを開設し計約18万円全額を広報費で支出、活動報告（23回更新）と所属政党へのリンク設定が気になる。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入費（約19万円）のうち公明新聞はじめ5紙の購読（約18万円）がほとんどとなっている点が気になる。	支出科目で多いのが広報費（約56万円）で、チラシ等（合計約3万6千部・3回/年・約26万円）を発行。またHPを開設し広報費として計約13万円全額を政務調査費より支出。　活動報告（8回更新）と所属政党へのリンク設定が気になる。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入費（約27万円）のうち新聞5紙の購読（約20万円）がほとんどな点が気になる。	領収書宛名無等の会計処理上の不備等だけで46件、約17万円。支出科目で多いのが広報費（約43万円）・資料作成費（約29円）・事務所費（約28万円）で、チラシ等（6千部・1回/年・9万）を発行。またHPを年度末に更新し、広報費として計約17万円の全額を政務調査費より支出。　政調費は公金であるから、その処理に不備が多い点は気になる。	支出科目で多いのが事務所費（約60万円）・広報費（約38万円）で、広報紙等（合計4万部印刷・約17万円）を発行。政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入費（約19万円）のうち新聞等5紙の購読（約10万円）が多い点が気になる。　なお当会の指摘等で返還された支出は接客用お茶代。	支出科目で多いのが研究研修費（約28万円）で、外部研修会の参加（宿泊の場合あり）によるもの。　政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入費（約18万円）にて一般人が知識として購入す「手紙・はがき基本文例集（編・主婦の友社・1，365円）」を公金である政務調査費で購入している点は不適当である。また、所属政党紙である赤旗を政調費で購読していることが気になる。

◇作成にあたって、“議会は市民に「公開された＝見える」議論の場であるべき”という考えから、交付された年間約200万円の政調費に関する情報公開請求を行い、政調費の使途について詳細を調べました。単なる名誉職でない、あくまで市民に向け「見える」議員活動を公正・公平に行い、“政調費＝公費”の適切な利用をした方が評価されるべきです。

										顔写真 選挙公報より
板橋智之	前原博孝	池田嘉明	篠田文男	石橋俊伸	松本　進	関口京子	光田直之	桜井由美子	板橋博美	氏　名
自民	自民	自民	自民	公明	公明	公明	民主新風	共産	共産	党　派
3	5	1	1	7	4	4	5	8	8	議会発言数*3（一般質問）
欠席なし	7	欠席なし	1	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	欠席なし	議会欠席数*1
防犯・防災 道路交通整備 下水整備・町会 街づくり協議会	高齢者・身障者 子供の安心安全 地場産業育成 中小企業活性化	元郷南小改築 教育センター 給食センター 地域産業活性化	人材育成 元気な地域 づくりの推進	安心安全 駅前診療所 健康増進・介護 中小企業振興	行財政改革 少子化・福祉 教育改革 環境美化・防犯	放課後 子供ﾌﾟﾗﾝ 防犯・健康 福祉・交通	対話と行動 新郷区画整理 地域医療充実 地域格差是正	国保介護保険料 子供医療費 30人学級 生活ｲﾝﾌﾗ整備	国保介護保険料 子供医療費 30人学級 生活ｲﾝﾌﾗ整備	公約*2（選挙広報上）
3.919	3.040	4.508	2.738	3.168	3.888	3.784	2.786	3.218	2.788	2007年得票数
全額利用	ほぼ全額使用	全額使用	1,313,915円	635,509円	391,625円	237,657円	220,904円	301,786円	70,334円	返還額
47%	93%	98%	82%	76%	77%	91%	93%	71%	47%	疑義の生じた使途
支出科目で多いのが広報費（約１１６万円）になっている。市政レポート（年度末・約３１万円）を発行している。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入費（約２０万円）の半分が新聞５紙の購読（約１１万円）となっており、気になる。	支出科目で多いのが広報費（約７０万円）・人件費（約４９万円・７６．５日／年分）で、事務員を雇用。 デジタルカメラ（キヤノンＥＯＳ　ＫＩＳＳ　Ｘ２・約１０万円）　電子辞書（ＳＨＰＷＴＣ９８０・約５万円）を購入して政調費からその半額を支出。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、電子辞書や比較的高額なデジカメを政調費購入の必要があるのか疑問。	支出科目で多いのが広報費（約１１２万円）で市政報告ニュース（９千部・１回／年・約９４万円・作成費・封筒印刷１万枚分を含む）を発行。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、市政報告ニュースの関連費用（約９９万円）・事務員人件費（約３２万円）・ガソリン代（約８万円）で６８．３％となっており、気になる。	政調費を唯一百万円以上返還。 もし効率的支出であるなら望ましい。 他議員と異なり、多いのが調査旅費（約４８万円）、ガソりン代と宿泊を件う視察。 資料購入費で恋愛小説『切羽へ』（約千５百円）を購入は、政調費の趣旨（調査研究用途）から問題。 当会の指摘で返還された支出はタクシー代２件・図書３冊（右記恋愛小説含む）・団体の会費。	支出科目で多いのが広報費（約５９万円）で、チラシ等（合計一万八千部以上・４回以上／年・年度末含む・約３１万円）を発行。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入費（約２６万円）のうち公明新聞をはじめ一般市民でも購入する新聞５紙の購読（約１５万円）が半分以上であることは気になる。	支出科目で多いのが支出科目で多いのが調査旅費（約５８万円・宿泊伴う場合あり視察１３回）・広報費（約５３万円）で、チラシ等（合計約四万三千部印刷・４回／年・年度末含む・約３１万円）を発行している。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、資料購入費（約７万円）のうち公明新聞はじめ新聞２紙の購読（６万５千円）がほとんどであり、気になる。	多いのが広報費（約８０万円）・調査旅費（約６１万円・宿泊伴う場合有視察１２回）で、チラシ等（計約６万部・６回／年・年度末含・約５３万円）を発行。 ＨＰ開設し全計約１２万円広報費から、活動報告（４回更新）と所属政党へのリンク設定が気になる。資料購入費（約１５万円）は公明新聞等５紙（約１４万円）が大半、政調費の趣旨（調査研究用途）から気になる。	支出科目で多いのが広報費（約１７０万円）で、チラシ等（約６万部印刷・４回／年・年度末含）を発行。またＨＰを年度末に更新等して広報費で計約２７万円全額を政調費より支出。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、広報費の支出が８９．２％となることが気になる。	支出科目で多いのが資料購入費（約１８万円）・研究研修費（約１８万円）になっており、定期購読誌等と外部研修会の参加（宿泊を件う場合あり）によるもの。資料購入費で小説である『蟹工船』（６百円・他１冊）を購入は、政調費の趣旨（調査研究用途）から不適当、所属政党紙である赤旗を政調費で購読の点も気になる。なお、当会の指摘等により返還された支出は右記の小説２冊分。	支出科目で多いのが事務所費（３６万円）・資料購入費（約２５万円）で、事務所を設けて活動。 資料購入費で小説である『蟹工船』（５７０円）を購入していることは、政調費の趣旨（調査研究用途）から不適当であるとともに、所属政党紙である赤旗を政調費で購読していることが気になる。 なお、当会の指摘等により返還された支出は右記の小説の支出分。	政務調査費（政調費） 利用と処理の状況について

◆領収書の宛名無・但書無・御品代等の記載。支出を証するものではありません。◆市民は50%の個人負担をしていても政調費による高額な備品購入には納得できません。◆広報紙(ﾃﾞｻﾞｲﾝ・印刷・配布代・郵送代)等の″年度末″支出は予算の使い切りと疑われても仕方がありません。

									
岩澤勝徳	松本英彦	田口順子	豊田　満	立石泰広	大関修克	阿部ひろ子	最上則彦	星野洋子	金子信男
自民	自民	自民	自民	自民	公明	公明	民主新風	共産	共産
1	2	3	3	3	2	1	0	7	7
2	9	5	欠席なし	欠席なし	欠席なし	3	5	欠席なし	欠席なし
仕事子育て両立 いじめ問題 高齢者・障害者 芝川整備・防災	安心安全 子供・高齢者 人に優しい 街づくり	幼児教育 奉仕体験教育 乳幼児童福祉 地域活性・行革	優しい街づくり 安心安全・健康 環境配慮 産業支援整備	自治体財政 行政ｻｰﾋﾞｽ選択 現場主義 市民ﾆｰｽﾞ	交通・文化振興 乳児・高齢福祉 中小企業発展 24時間応相談	安心安全 教育改革 子育て支援 福祉総合相談	人づくり 産業・文化 健康・医療 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・福祉	国保介護保険料 子供医療費 30人学級 特養・児童館	国保介護保険料 子供医療費 30人学級 中小企業振興
3,432	2,836	3,402	4,299	4,134	3,743	4,178	3,173	3,030	2,761
250,898円	213,497円	103,044円	143,604円	全額利用	124,269円	502,638円	117,256円	29,117円	191,509円
91%	45%	66%	47%	17%	79%	65%	86%	33%	46%
多いのが広報費（約９７万円）で市政報告（合計３３千部・約５５万円）を発行。・人件費（約５６万円・約６百時間／年）で事務員を雇用。研究研修費・資料購入費（各約３万円）が小額な点、広報郵送切手２８百枚（約２２万円）年度末購入は政調費の趣旨（調査研究用）から気になる。 当会指摘等返還は誤請求（駐車代）・１人５百円を超えた茶菓子代。	支出科目で多いのが広報費（約６２万円）で市政報告を発行・人件費（３６万円）で事務員を雇用。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、広聴費として茶菓子代４３件総額約１８万円を支出しているが、趣旨から逸脱している疑いあり。 机（８万円の半額）・書棚（３６千円の半額）も気になる。	広報費（約９４万円）で市政報告（合計１万部・２回／年・年度末含・約８３万円）を発行。人件費（６０万円）で事務員を雇用。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、広報費＋人件費で支出の７９％以上の点や電子辞書（約３万円）を購入の点が気になる。 当会指摘等で返還された支出は按分すべき紙購入代金・タクシー代請求の誤り。	支出科目で多いのが広報費（約７５万円）で、市政報告（合計８千部・１回／年・約１０万円）をに発行。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、その半分近く広報費である点が気になる。 当会指摘等で返還された支出は按分すべきパソコンメンテナンス代。	支出科目で多いのが事務所費（約８８万円）・人件費（約７１万円）で事務所を設け、事務員を雇用。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、事務所費＋人件費で支出の７８％以上となっていることが気になる。	多いのが広報費（約７２万円）・調査旅費（約６０万円・宿泊の場合含む視察１３回）でチラシ等（計５千部以上・約２３万円）を発行。 ＨＰ開設で計約１１万円広報費支出、活動報告（１０回更新）と所属政党へのリンク設定が気になる。 資料購入費（約１７万円）で公明新聞等３紙（約９万円）が約半分、政調費の趣旨（調査研究用途）から気になる。	支出科目で多いのが広報費（約６９万円）・調査旅費（約３２万円・宿泊伴う場合有視察８回）で、チラシ等（合計５千部以上・約２６万円）を発行。 河津桜視察は、当会調査では有用と思えない。 資料購入費（約２２万円）のうち公明新聞等新聞５紙の購読（約１９万円）がほとんどで、政調費の趣旨（調査研究用途）から気になる。	支出科目で多いのが広報費（約８５万円）で会報（合計１５百部・１回／年度末・約１６万円）を発行。人件費（約５９万円）で事務所を設け事務員を雇用だが、親族所有不動産を事務所に借りその半額を支出（３０万円／年）。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、広報費＋人件費＋事務所費で支出の８５％以上となっていることが気になる。	支出科目で多いのが事務所費（約４１万円）・資料購入費（約２４万円）で、事務所を設けて活動している。政調費の趣旨（調査研究用途）から、思想信条で所属する政党紙である赤旗を議員個人ではなく政調費で購読していることが気になる。	支出科目で多いのが資料購入費（約２５万円）。 政調費の趣旨（調査研究用途）から、思想信条で所属する政党紙である赤旗を議員個人ではなく政調費で購読していることが気になる。

掲載データ（Ｈ１９年５月臨時会〜Ｈ２２年１２月定例会を集計・欠席数はＨ２２年９月定例会まで）

◆＊１【議会欠席数】議事録に掲載された欠席数を集計実施

◆＊２【公約】０７年の選挙公報より“キーワード化したもの一部抜粋

◆＊３【議会発言回数】一般質問のみの集計を記載（討論・議員提案などは含まれていません。）

◆政務調査費（Ｈ２０年度）の記載内容は収支報告書・監査請求時のデータ・監査結果をもとに記載

◆『疑義の生じた使途（％）』は、当会の住民監査請求時の政調費の使途総額に対する監査対象金額の割合

◆市民は報告書のない視察・研修会・調査旅費には納得できません。◆新聞は一般家庭でも購読します。政調費による新聞(一般商業紙)の購読は、市民には納得できません。　所属政党紙は言うまでありません。◆議会活動等を広報することは必要ですが、政治家個人としての活動でもあります。市民は政調費による広報紙発行・HPに関する経費の政調費による全額負担には納得できません。